



令和6年11月28日(木) 川崎市立西丸子小学校

学校の世代交代に向けて

川崎市立西丸子小学校 校長 筒井愛子

11月の「観測史上最も遅い夏日」から、急降下で「12月並みの寒さ」となり、冬支度にご苦労された方も多いことと存じます。目まぐるしく変化する気象に、身体がついていかれず、体調を崩す子どもが増えています。

庭のハナミズキの葉もいつの間にか真っ赤になり、葉が落ち始め、気づけば12月。そろそろ年度のまとめを意識する時期です。6年生は、卒業文集の制作に取りかかっています。一人一人に個性があるように、共に過ごしていると、集団にも個性が出てきます。特に本校では、高学年の担任が、子どもたちとともに「学年テーマ」を掲げ、「そこに向かって共に進んでいこう」とリードしていく様子が見られます。そして、そのテーマが、そのまま卒業アルバムのタイトルになっています。

毎年、私自身も原稿を書かせていただいています。いつもまず初めに考えるのは、「この学年の子どもたちの特徴」です。その次に、このテーマに向けて頑張ってきた子どもたちの、具体的なエピソードを想起します。そこからは自然と、「こんな場面で頑張ってきた子どもたちだから、将来は…」と、たくさん期待しながら、最後は「豊かな人生を送ってほしい」で締めくくります。手の内を明かすようですが、担任ほど子どもたちとの接触がない自分にとって、この時間は、数少ない子どもたちとの思い出に浸る、幸せな時間です。今年度のテーマは、「R6P (remennber,respect などのいろいろなRを大切にす6年生の project)」ということですので、たくさんのRを思い起こす日々です。

「巣立ち」の準備と同時進行で、「仲間入り」の準備を始めた子たちもいます。11月に、新入生対象の就学時検診を行いました。緊張して診察を受ける子、物怖じしない子、お母さんから離れない子と、個性豊かなニューフェイスたちですが、現1年生と比較しますと、8か月間の成長の著しさを痛感します。この子たちの1年後も楽しみです。

楽しみと言えば、創立70周年記念式典まで、あと1年を切りました。高学年の子どもたちが中心となり、マスコットキャラクターやスローガンを決めるため、全校児童に呼びかけ、着々と進めています。先日の朝会では、3つに絞られたスローガンの紹介がありました。このうちの1つを選んでもらい、GIGA 端末からの投票で決めるそうです。3つとも西丸子らしいスローガンで、どれに決まるか楽しみです。

さて、学校のまとめは、当然、教職員や子どもたちのみならず、大人のまとめに基づくものです。保護者の皆様、地域の皆様には、4月からあらゆる教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。保護者の皆様には、今年度も、フォームによるアンケートのご回答にご協力をお願いする予定であります。また、地域の皆様のご意見やご感想は、直接学校にお寄せいただければ、幸いに存じます。引き続きよろしく願いいたします。どうぞ皆様、よいお年をお迎えください。